

～レースレポート TOYOTA GAZOO Racing Rally Challenge～

2025 年 Rd. 4 富士山すその



ミスコースを2度起こしました！

次戦こそは完全燃焼できるよう頑張ります

2025/5/10(土)～2025/5/11(日)

静岡県裾野市

■大会概要

日程: 2025/5/10(土)～5/11(日)

場所: 静岡県裾野市

総走行距離: 74.56km

■スペシャルステージ設定

SS1: 0.43km SS 順位 9 位

SS2: 2.14km SS 順位 8 位

SS3: 4.66km SS 順位 N/A 位

SS4: 0.43km SS 順位 8 位

SS5: 2.14km SS 順位 N/A 位

SS6: 4.66km SS 順位 N/A 位

■リザルト E-1(Expert): Vitz 1,500cc 総合 9 位/12 台

C-2 (Challenge) :Vitz 1,500cc 限定 (NCP131/NCP91)																
1	167	関屋 龍一	関屋 彩	ヴィッツ	NCP131	茶畑のBFA YH Vitz	0:38.5	1:26.2	4:25.0	0:39.3	CXL	CXL	07:09.0		07:09.0	
2	170	中澤 涼	藤佳あやら	ヴィッツ	NCP131	LOVCAプロ ユ YHヴィッツ	0:39.2	1:27.2	4:25.0	0:38.0	CXL	CXL	07:09.4		07:09.4	+0:00.4
3	175	後藤 誠待	古川 幸	ヴィッツ	NCP131	トヨタ名古屋自動車大学校VITZ	0:38.7	1:28.5	4:25.0	0:38.3	CXL	CXL	07:10.5		07:10.5	+0:01.5
4	169	桐生 清	みなびよ	ヴィッツ	NCP131	DL コンベ EMC LDヴィッツ	0:41.8	1:26.3	4:25.0	0:41.0	CXL	CXL	07:14.1		07:14.1	+0:05.1
5	173	小出 昌樹	赤堀 達彦	ヴィッツ	NCP131	Tick tack Vitz	0:47.7	1:29.5	4:25.0	0:42.6	CXL	CXL	07:24.8		07:24.8	+0:15.8
6	176	内木 実	早川 一矢	ヴィッツ	NCP131	NTP NAVUL Vitz	0:45.3	1:28.6	4:25.0	m 0:55.4	CXL	CXL	07:34.3		07:34.3	+0:25.3
7	168	工藤 恭二	藤村 保	ヴィッツ	NCP91	MUCCOLE91ヴィッツ	0:47.4	1:32.1	4:25.0	m 0:55.4	CXL	CXL	07:39.9		07:39.9	+0:30.9
8	172	半田 雅俊	浅見 大輔	ヴィッツ	NCP131	トヨタ東日本VITZ	m 1:13.4	1:29.2	4:25.0	0:40.8	CXL	CXL	07:48.4		07:48.4	+0:39.4
9	171	大野 秀昭	杉浦 真吾	ヴィッツ	NCP131	GLW Racing 1st Vitz	m 1:13.4	1:29.7	4:25.0	m 0:55.4	CXL	CXL	08:03.5		08:03.5	+0:54.5
10	178	増田 拓真	恩田 和彦	ヴィッツ	NCP131	トヨタ東京自動車大学校 1号車 ヴィッツ	m 1:13.4	1:42.2	4:25.0	0:45.4	CXL	CXL	08:06.0		08:06.0	+0:57.0
11	174	壽田 亮子	平野 七美	ヴィッツ	NCP131	KOTORAS ヴィッツ	m 1:13.4	1:32.3	4:25.0	m 0:55.4	CXL	CXL	08:06.1		08:06.1	+0:57.1
12	177	榎夏	ANRI NAKASHIMA	ヴィッツ	NCP131	キャンベレーションシン×ハヤブサ vitz	1:03.4	1:53.5	4:25.0	m 0:55.4	CXL	CXL	08:17.3		08:17.3	+1:08.3

ダイジェスト

5/10～5/11 に静岡県にて開催された TOYOTA GAZOO Racing Rally Challenge 第4戦 富士山すそのに GLW レーシングチームが参戦しました！

前回はドライバー岡崎善衛、コ・ドライバー神田亜季で参戦しましたが、今回はドライバー大野秀昭、コ・ドライバー杉浦真吾の体制で臨みました。

今回は様々なトラブルに見舞われ、涙の9位に沈む結果で終了しました。

トヨタ自動車東富士研究所も位置する裾野市はクルマ文化・モータースポーツ文化の根付く気持ちの良い空気で、そこに荘厳な佇まいの富士山のバックグラウンドが重なり、多くのラリーチャレ会場の中でも人気の高いまちです。

セレモニアルスタートを経てまずはすぐにパーク内の SS1 の会場に進みました。昨年も同じペアで好成績を残した SS だけに、今大会も期待のかかる区間です。前を走るライバルたちが続々と良いタイムを叩き出しているアナウンスが聞こえる中、緊張のスタート。上り坂をあえて 1 速で上り、数あるコーナーも最短で周り切った結果、なんとタイムはクラストップの 37.8 秒！

今大会も気持ちの良い週末になる予感のするスタートとなりました。・・・かに思えましたが、なんと裁定はウォータードラムタッチによりミスコース！30 秒以上ものペナルティーが加算されてしまいました。最初の 1 コーナーにおいて悔しい判定を受け、地獄のような空気感とともに SS2 の会場に向かいます。



次なる SS2 はトヨタ自動車の東富士研究所内のテストコースを走らせてもらえるという嬉しいサプライズ！詳細な言及は避けませんが、ドラ・コドラ間での事前の意識統一が上手くできておらず、不甲斐ない 8 位の結果に沈みました。

この時点での結果は冴えないものの、リエゾン区間でバックに輝く富士山から勇気もらい、本格的なラリー区間である次なる SS3 に向かいました。この SS3 はレッキ後のペースノート作りに最も時間をかけて準備した区間であり気持ちを切り替えて現地に向かってい

たところ、またもやトラブル発生！前を走る車両にクラッシュがあり、途中で引き返すようにとの指示がコドラに飛んで来ます。まずはドラ・コドラのお二方が無事であることを願いながら、仕方なく指示通りにサービスパークに戻りました。しばらく待機した後、なんと午後も復旧が間に合わず、午後は SS4 のみ実施して終了という決定を言い渡されました。安全性と競技成立の双方を考え、どのような意思決定をしても一定の批判を免れない状況で判断をされた運営の皆様、お疲れ様でした。

午前中に冴えない結果を残してしまった GLW ペアは既になんかなり意気消沈ですが、SS1 の判定が覆る一縷の希望に賭けて万全の状態で行くことにします。SS4 ではライバルチームにコンマ 3 秒先んじることができれば、表彰台が見えてくる状況です。先ほどのウォータードラムタッチ判定の記憶が蘇り、二度同じ轍を踏みたくはないもののあまりにも安全なコースを取りすぎても表彰台の可能性が消滅するため、結局攻め続けるという結論に達しました。

1 コーナーでは SS1 よりも多少大回りで進入しましたが、ここはレーサー大野秀昭。ステアリングをえげつない角度で切り、結局超最短ルートに車を

を引き戻します。その後もギリギリを攻め続け、またもクラス内トップの 37.4 秒！最短ルート以外レースじゃねえとでも言いたいかなのような大野の走りでした。・・・が、またしてもウォータードラムタッチの判定！正式な異議申し立てをしたものの覆ることはなく、18 秒ほどのペナルティーが加算され、ミスコース扱いの車両の中での渋い戦いとなり、結局全体で 9 位の結果に沈みました。

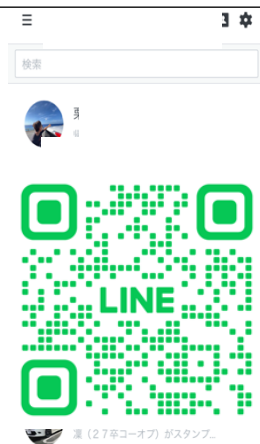
ミスコースに 2 度もなってしまう良いところがほとんどない週末となりましたが、次回以降は迷子になることなく、ポジティブなレースを展開して行きたいと思います。また今回は学生のインターン生と指導教官役のイスラエル人エンジニア、タル ベンアドンも参加してくれました。

次回は Rd.5 の利府に参加予定です。今後とも応援よろしく願いいたします！



公式 LINE

候補者との主要連絡手段



YouTube

日本語 8 割・英語 1 割・ベトナム語 1 割



Facebook

主に海外からの需要



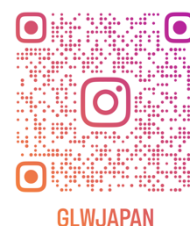
Linkedin

海外向け情報発信・採用



Instagram

リール投稿してます！



GLW について

GLW は、モビリティ業界において専門技術サービスを提供するビジネスソリューション企業です。

社員一人ひとりの持つ技術力を武器に、受託開発や技術コンサルティング、エンジニア派遣サービスを展開しています。創業4年目の若い会社ですが、社員数は既に90人を超えており、日本中の自動車メーカーおよびサプライヤーの設計開発業務を支えています。

社員構成上の特徴は、外国籍社員の割合が7割以上である点です。豊かなダイバーシティと技術力の掛け算で、日本のモビリティ業界を変革に導きます。

<メディアからのお問合せ先>

株式会社 GLW 海外戦略部/人事部 シニアリーダー 杉浦 真吾

TEL: 045-900-8393 E-mail: newg-recruit@glw.co.jp

